

次世代の地域の看護を担う看護師育成プログラムの開発 ー「自ら輝く鹿児島看護職キャリアパス」地域看護コース

鹿児島大学病院 田畑 千穂子

【実践の概要】

当院のキャリアパスの特徴として地域看護コースがある。地域看護コースは3つの枠組みの構成で、その一つが「鹿児島医療人育成プラン」である。このプランは3年間で一人前に地域に羽ばたける看護師育成を目指している。今年、新人助産師の育成として地域施設での正常分娩研修を企画・実施しできた。研修した新人助産師は3名で平均11件の正常分娩を経験できた。また、平成25年度より3年目の看護師を対象とした必須研修で地域施設見学研修の企画をすすめている。枠組み2では、地域看護コースの公開講座を予定している。

地域看護コースの看護師の要件として、特定巡回診療の経験・ラダーⅢの取得・退院支援ナースの活動を挙げた。今後、地域看護コースで幅広い看護実践能力を持つ看護職を育成し、離島・僻地への直接技術支援を目的とした人事交流に発展させ、次世代の地域の看護を担う看護師の育成につなげていきたい。

【背景】

当院は特定機能病院として、また、地域唯一の大学病院として最新の医療技術や専門的看護の提供を行うこと、地域医療の充実・地域看護職の教育に寄与することを求められている。当院のキャリアパスは、大きくは看護管理者、教育・指導者、看護実践者の育成を目的としている。当院のキャリアパスの特徴として、「地域看護コース」がある。本県の抱える医療上の課題と共に、第5次医療制度改革以降、医療機能の分化・連携の推進、地域ケア体制の整備が主体となり、医療の病院完結から地域・自宅完結型へと変化してきていることへ、当院の看護師が主体的に取り組み地域への貢献を果たすことにある。コースの最終目的は、離島・僻地の看護職への直接技術支援を目的とした人事交流へと発展させ、地域貢献へつなげることである。

【実践計画】

<重点課題1>鹿児島キャリアパス地域看護コースを策定する

「地域看護コース」に2つのコースを設け、鹿児島大学病院看護部に所属し、「地域看護コース」を取得できるコースと県内の施設で1年以上の勤務経験を有し、地域の施設で働きながら鹿児島大学看護部の研修を受けるコースを設けた。

地域看護コースナースの要件として、i) 特定巡回診療の実績、ii) ラダーⅢの取得、iii) 地域看護コースの研修の修了、iv) 退院支援ナースとして活動実績と退院支援ナースとして関わった優れた実践報告がある、とした。地域看護コースの育成プログラムを3つの枠組みとした。①枠組み1「鹿児島医療人育成：3年目で地域施設見学、新人助産師の地域施設で正常分娩研修」、②枠組み2「専門分野・自由・管理研修」③枠組み3「地域看護ナース研修」とした(図1)。

地域で活躍している看護職とのネットワークは鹿児島県訪問看護ステーション協議会と連携することとしている。

<重点課題2>新人助産師の地域施設での正常分娩研修について

新人助産師の正常分娩研修は、病院の研修として位置づけられた。研修施設への依頼は、地域施設



図1 地域看護コース看護師育成プログラム

の管理者と打ち合わせを重ね、助産師学生の実習施設であること、安全管理体制や教育体制が整っていること、当院の新人助産師育成に理解が得られたことが決めてとなってすすめることができた。研修にあたっては「新人助産師研修派遣要綱」を作成し、事前レポート・ファイナルレポートの作成、カンファレンスの開催や申し合わせ事項をまとめた。新人助産師の3名は一人4週間で平均11件の正常分娩を経験することができた。「助産実践能力チェックリスト」による研修前後の比較では研修後に全体平均が0.66上がっていた。研修を終えた新人助産師達は、「夜勤へのストレスがなかった」「地域の仲間が異常分娩にならないためにどれだけの努力を払っているのか知った」とその成果を示していた。

【結果】

地域看護コースの教育プログラムは平成25年1月の師長会に提案し、更に、3年目看護師を対象とした地域施設見学研修の研修要項などを作成中である。

地域施設への新人助産研修は病院の研修に位置づけられ予算化でき、平成24年10月1日～12月21日（12週間）の期間に新人助産師3名が修了した。一人平均11件の正常分娩を経験し、分娩期の診断とケア・分娩各期の配慮・分娩監視装置の装着と判定については大幅な上昇を認めていた。また、平成25年1月21日より地域助産施設より新人助産師のNICU研修を3名受け入れ、双方の施設の教育の補完となった。

【評価及び今後の課題】

今後の課題として、平成25年度の教育計画に地域看護コース看護師育成プログラムを柱とし、地域施設の見学研修や公開講座等の具体的な計画案の策定と確実な実施である。新人助産師育成については、平成25年度の鹿児島県看護協会の助産師教育の一環としても協働していく予定である。